



太建発第 91 号

平成20年10月 日

国土交通省道路局長 殿

常陸太田市長 大久保太一



「今後の道路行政についての意見・提案の提出」の回答について

標記の件について、別紙の通り報告いたします。

お問い合わせ先

茨城県常陸太田市建設課

TEL0294-72-3111内線215

FAX0294-72-3001

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

茨城県常陸太田市

・道路特定財源は、長年にわたり、計画的に道路を整備するための財源としての使命を担ってきた。しかしながら、平成 21 年度から一般財源化されることが閣議決定されるなど、今後、道路整備に大きな支障が生じてくることが予測される。

このため、国において、道路整備の安定的かつ確実な財源を確保し、地方公共団体における道路整備財源の充実に努めることを要望する。

・特に本市においては、幹線道路については道路特定財源及び補助金を活用し事業を推進しているが、地元からの整備要望の多い身近な生活道路などは、現予算規模の中で速やかに執行することは困難な状況にある。また、補助事業の実施にも市の財政負担が伴うため、全ての道路に対し予算化することは難しいことから、現補助制度では路線単位に主要な幹線道路を対象としているが、本市においては市民生活に密着した生活道路の整備を多く求められており、このため幅広い道路の整備に対応することが可能な制度を創設してほしい。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

茨城県常陸太田市

○現状 本市は、茨城県の北部東京から約 120K mに位置し、人口約 6 万人の農業を主産業とする田園都市である。 道路体系は、国道 293 号、349 号、461 号を広域的骨格軸としてこれに、県道・市道の幹線道路が連絡しあい道路網を形成し、それぞれ整備に努めているが一層の整備促進が必要である。 また、本市の面積は県下一と広大であり、今後市内各地域の連携を図り、活力あるまちづくりを推進するには、社会資本の最も基礎となる道路整備は必要不可欠であり、更に、日立電鉄の廃線などにより、公共交通機関が脆弱な本市にとって、交通ネットワークに占める道路の役割はますます高く、また、道路整備に対しても地元からの要望は極めて強いものがある。	○課題 本市の道路延長は約 2,300K mと県内上位にあるものの、改良率は 21%と県の平均改良率 38%を大幅に下回っているうえ、災害時の緊急車両が通行できない箇所、歩道のない箇所など危険箇所が多数残ったままとなっており、道路整備は喫緊の課題となっている。 また、本市の広域的骨格軸を形成している国道 293 号、349 号、461 号等の幹線道路は、未整備区間や市街地における慢性的な交通渋滞など、幹線道路として機能が不足しており、このため物流路線として本来の役割を果たすべく、推進中のバイパス事業などの早期整備が強く望まれている。
---	--

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②-2 地域の目指すべき将来像

茨城県常陸太田市

本市は、茨城県の北部に位置し、平成 16 年の合併により南北 40 k m 東西 15 K m 面積 370 K m² を有し、北側に山地が広がりそれらを源として久慈川や里川などの清流が流れる自然に恵まれた、農業を主産業とする田園都市である。

これまで、まちづくりにおいては、これらの豊かな自然環境と幹線道路や下水道等の整備など都市環境との調和を図りながら、企業誘致や自然・歴史を活かした西山荘や竜神大吊橋など観光の振興また、地域の特産品である常陸秋そば・ぶどう・梨など地場産業の振興にも力を入れ取り組んできた。

今後、県北地域の拠点都市として、本市の財産である恵まれた豊かな自然や歴史など、個性・特性を活かしたまちづくりを推進する考えである。

本市を含む県北地域は山間部の占める割合や地形的な制約も多く、更に鉄道等の公共交通機関が脆弱であることから、交通ネットワークに占める道路の役割は大変高いものがあり、まちづくりにおいて道路網の整備・充実はますます欠かせないものとなっている。

このような状況下において、企業誘致や観光産業及び交流人口の増大など地域振興を図るためには、特に、国道 293 号、349 号、461 号などの幹線道路の整備を一層促進する必要がある。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

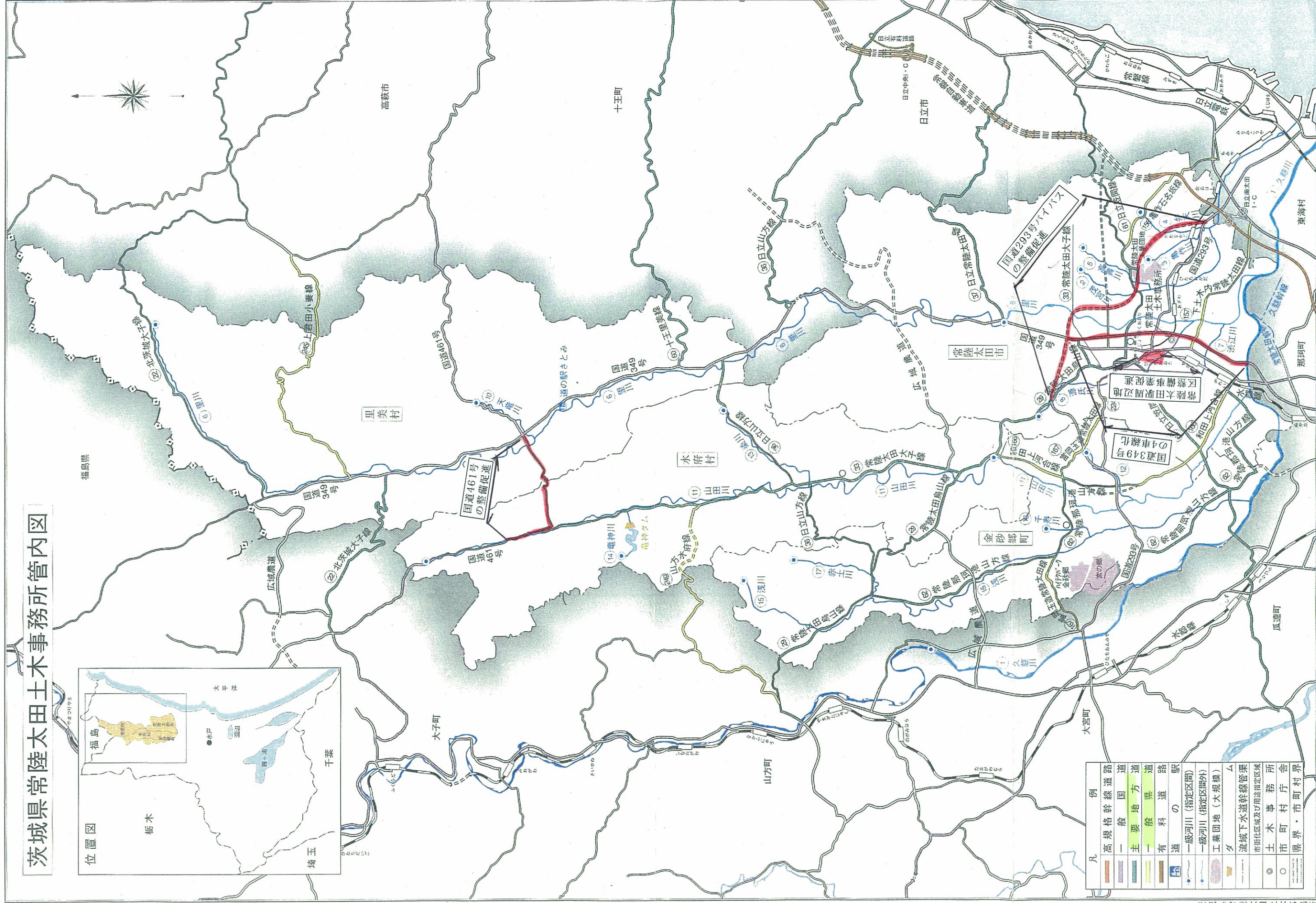
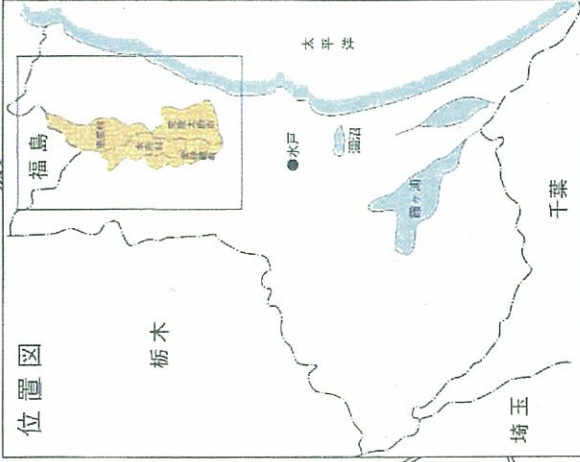
③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

茨城県常陸太田市

○重点課題 ・地域活力の向上	○ 代表事例 広域幹線道路の整備 ・ 重要港湾日立港の物流道路である 国道 293 号バイパスの早期整備。 ・ 慢性化している渋滞解消のため国 道 349 号の早期 4 車線化。 ・ 県北中産間地の交流・連携に欠かせ ない国道 461 号の早期整備。 ・ 常陸太田駅周辺地区整備事業促進。 ・ 県道の整備促進。	○期待する効果や評価等 公共交通体系が脆弱な本市にとって、交通ネット ワークに占める道路の役割は大変高く、道路交通網 の整備充実が本市の発展のためには必要不可欠であ る。 このため、幹線道路の整備は、新たな産業拠点と して期待される宮の郷工業団地への企業誘致促進ま た、本市の大きな財産である歴史や豊かな自然を活か した西山荘・竜神大吊橋などの観光産業の振興等、 本市のまちづくりを推進するためにはますます重要 なものとなっている。	○その他
-------------------	--	--	------

茨城県常陸太田土木事務所管内図

位置図



凡	例
高規格幹線道路	国道
一般国道	道
主要地方道	道
一般県道	道
有料道路	道
道の駅	駅
一級河川 (指定区間)	河川
二級河川 (指定区間外)	河川
工業団地 (大規模)	工業団地
ダム	ダム
流域下水道幹線管渠	管渠
市街化区域及び用途指定区域	市街化区域
土木事務所	土木事務所
市町村庁舎	市町村庁舎
県界・市町村界	県界・市町村界